

平成 29 年 6 月 10 日土曜日 第 4 回母子栄養懇話会学術集会に参加してきました！

会場は茗荷谷駅からほど近い跡見学園女子大学 文京キャンパス「ATOMI Blossom Hall」。両サイドのガラス窓から光が差し込むとても素敵なホールです。（*^-^*）



たくさんの方が会場に来ています。エントランスは人がいっぱいです。

学術集会は学会長の挨拶ではじまります。

第 4 回学術集会のテーマは「低出生体重児を防ぐための栄養管理と連携を考える」、学会長は群馬県高崎市にある産婦人科館出張^{なてでばり}佐藤病院の院長佐藤雄一先生です。

先生は女性の健康を支援している NPO 法人「ラサーナ」の理事も勤めています。

今の日本では 40 年前より低出生体重児の割合が増えています。低体重の赤ちゃんを減らす為には、妊娠前から栄養状態良くすることが大切なのだそうです。女性の健康状態、栄養状態は未来の赤ちゃんの健康にもつながっているのですね。





学会長講演の後は聖路加国際大学大学院 看護学研究科国際看護学教授の大田えりか先生の講演です。コクラン日本支部でコクラン妊娠出産グループアソシエイトエディターとしても活動し、WHOのガイドライン作成にも携わっている先生です。

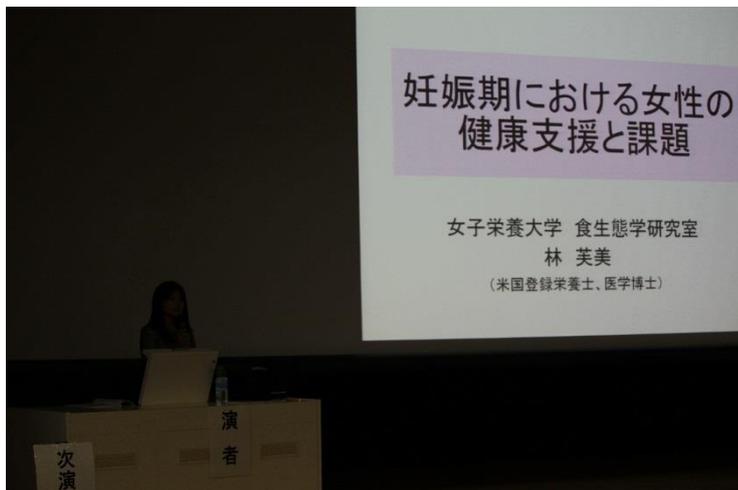
WHOは過体重を防ぐ為、妊娠中の女性は健康的な食事摂取や適度な運動に関するカウンセリングを受けることを推奨しています。また栄養が不足している場合は低出生体重児を防ぐ為、エネルギーとたんぱく質摂取量増加に関する栄養教育を推奨しています。ガイドラインを詳しく知りたい方は

“WHO recommendations on antenatal care for a positive pregnancy” を見てみてください。

そして熊本県水俣市の取り組みもとても印象深いお話でした。母子手帳配布時に生活習慣などの保健指導を実施するようにしたところ、1年で低出生体重児の割合がなんと1/3近く減ったそうです。妊娠中の栄養介入は重要ですが、介入の時期も重要であることが良くわかりました。

午前の部の最後は女子栄養大学 食生態学研究室 准教授 林美美先生の講演でした。

仕事が忙しい女性は加工食品、中食の利用が増える為、バランスのよい食事を摂るのが難しくなっているそうです。食事への価値観が低い女性も食事が偏りやすくなります。また健康やバランスの良い食事の意識があっても低出生体重児の知識が少ないという女性が多いということです。妊娠前から良い健康状態、栄養状態になれるよう健康教育や支援を受けられることが不可欠ですね。



お昼休憩では一般社団法人ラブテリ代表理事 細川モモ先生と、済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科副部長 十河剛先生の2つのランチョンセミナーが選べます。

私は細川モモ先生のランチョンセミナーに参加しました！働く女性に視点を当てた先生のお話に参加の女性達は皆真剣に聞き入っています。

お仕事をバリバリこなしているけど体は栄養が不足している・・・なんて女性が世の中実はたくさんいます。(^_>)忙しくても食事をしっかり食べましょう！

お昼のランチョンセミナーをはさみ、午後は跡美学園女子大学マネジメント学部生活環境マネジメント学科教授 石渡尚子先生の特別講演です。大豆イソフラボンの研究をしている先生の講演のテーマは「女性だから！スローエイジング」、つつい前のめりになって聞いてしまいました。

女性ホルモンと似た働きをする大豆イソフラボンは閉経後の乳がんや脳梗塞リスク軽減につながるといわれているそうです。講演後、納豆と豆腐を買って帰ろうと心に決めました。



講演の休憩時間です。

企業のブースも人だかりができて賑わっています。

今回の学術集会には多くの企業の皆さんが携わってくださいました。誠にありがとうございました。

午後は「妊産婦栄養サポートの多職種連携と発展」パネルディスカッション。

パネラーは（左から順に）国立成育医療センター 週産期・母子診療センター母性内科医長

荒田尚子先生、

女子栄養大学大学院栄養学研究科管理栄養士 宇野薫先生、

東京家政大学子ども学部子ども支援学科准教授 細井香先生です。

仕事では自分の職種からの視点になりがちです、他の職種の立場からみたお話が聞けるのはとてもよい機会でした。





休憩時には座ってできるエクササイズでリラックス☆

一般演題の時間に入りよいよ学術集会も大詰めです。演者の方の中には未来の管理栄養士さんもいます！（駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科の学生さん達です）懐かしい気持ちになりながら、声には出さない声援を送ります。



充実した時間はあっという間です。来年の学会長宗田マタニティクリニック院長の宗田哲男先生の挨拶で学術集会の幕は閉じました。本を出したり、講演したりと多忙な中いつもとても気さくに話してくれる宗田先生、来年の先生の講演が楽しみです。

ご興味のある方は来年の学術集会是非参加してみてくださいね！

山王クリニック
管理栄養士 平田祐子